

# 統計調査ニュース

平成26年(2014)2月

No.327



## 平成26年全国消費実態調査の実施に向けて

公益財団法人総合研究開発機構(NIRA) 研究調査部長 神田 玲子

「おもてなし」「あまちゃん」・・・といえば2013年の流行語大賞ですが、候補の中には「SNEP」という言葉も入っていました。その意味を御存じの方も多いと思いますが、家族以外の人と接する機会の少ない「孤立無業者」のことです。そんな言葉が流行語になること自体、複雑な思いがします。でも、もし、本当に、社会から孤立している人が増えているとすれば、実は私たちの目にみえない部分が増えていることになります。

そんなとき、自分の視野を広げてくれるツールが、「統計」です。統計は、自分の目にみえないものを可視化してみせてくれます。

なかでも、「全国消費実態調査」は、人々の生活実態を把握する上で欠かせません。この調査は、全国の約5万7千世帯を対象にし、家計の収入、支出、そして住宅や宅地の所有状況、貯蓄・負債の保有額などを把握する調査です。

1世帯の平均的な支出は、いくらあるのか。世帯人数はどうなっ

ているのか。毎月、いくら貯蓄に回しているのか。収入の分布はどうなっているのか。こうした基本的な情報の一つひとつ積み重ねていくことで、私たちが社会を見る目も広がっていくものと思います。

5年ごとに実施される本調査では、その時々の方針ニーズにあった情報を収集するため、調査内容に変更を加えています。今回の調査の主な変更点を3つお伝えしましょう。

第1に、現在、医療・介護制度の見直しが議論されていることを反映して、世帯員一人ひとりが、介護をしているかどうか、また、要介護・要支援の認定を受けているかどうかを訊ねています。健康状況によって家計にどのような影響が生じるのか、把握するためです。

第2に、女性が働く時代といわれていますが、仕事と家庭の両立が困難であることに変わりはありません。そこで、世帯員一人ひと

りに育児休業所得の有無や取得期間について聞いています。

さらに、最近では東日本大震災を始めとして大規模な自然災害が多くなっています。それに関連して次の2点の変更が行われています。まずは、過去5年間の世帯の罹災状況を把握し、罹災した世帯の家計がその後、どのような状況に置かれているのか、調査します。また、太陽光発電システム、高効率給湯器(エコキュートなど)といった自然エネルギーや省エネルギー関連の設備の有無や、取得時期の調査項目が追加されています。

これらの調査の変更そのものが時代の変化を反映するものです。調査をすることで、自分の先入観にとらわれることなく時代の変化を先取りして客観的に把握していくことが初めて可能となります。全国消費実態調査が、これからも、家計の未来の姿を描く礎石であり続けることを期待します。

### 目次

|  |                           |
|--|---------------------------|
| 平成26年全国消費実態調査の実施に向けて..... 1            | 平成26年度 統計研修..... 6        |
| 平成26年経済センサス-基礎調査 地方事務(都道府県)の概要 .. 2    | 平成26年度 統計研修課程一覧(案)..... 7 |
| 平成25年科学技術研究調査結果の概要..... 3              | 統計情報提供の新たな取組について..... 8   |
| サービス産業動向調査 平成25年拡大調査結果(速報)の概要..... 4   | 政令指定都市発とうけい通信⑩..... 9     |
| 「統計の日(10月18日)」の標語(スローガン)を募集しています.... 5 |                           |

# 平成26年経済センサス - 基礎調査 地方事務（都道府県）の概要

平成26年経済センサス - 基礎調査及び平成26年商業統計調査は、民営の事業所を対象とした経済センサス - 基礎調査（甲調査）及び商業統計調査と、国及び地方公共団体の事業所を対象とした経済センサス - 基礎調査（乙調査）の2種類に分けて実施します。

ここでは、経済センサス - 基礎調査（甲調査）及び商業統計調査に係る地方公共団体の事務の概要について、2月号と3月号の2号にわたり、2月号では都道府県の手務について、3月号では市町村の手務について紹介します。

## 1 調査の準備事務（平成26年2月～6月）

### (1) 実施体制の整備及び調査の実実施計画・事務日程の策定

調査を円滑かつ正確に行うため、実施体制を整備し、調査事務全般にわたる実施計画・事務日程を策定します。

### (2) 市町村職員事務打合せ会の開催

国が開催する地方別事務打合せ会を受けて、市町村職員事務打合せ会を開催し、調査の内容や方法等に関する説明を行います。

### (3) 指導員数及び調査員数の市町村への配分・任命

国から配分された指導員及び調査員を市町村へ配分します。また、市町村から推薦された候補者の中から調査員及び指導員を任命します。

### (4) 市町村への『調査区内事業所名簿（追加分）データ』の送付及び同定結果の報告

「企業構造の事前把握」により新たに把握した事業所の情報を収録している『調査区内事業所名簿（追加分）データ』を国から受領し、市町村に送付します。また、市町村において調査区同定及び事業所番号を付与した『調査区内事業所名簿（追加分）データ』を取りまとめ、国に提出します。

### (5) 市町村への調査書類・用品の送付

国から調査書類・用品を受領し、数量を確認後、市町村に送付します。

## 2 調査票の配布・回収に係る事務（平成26年6月～12月）

### (1) 調査員調査の実実施状況等の把握

市町村における調査の実実施状況を把握し、必要な助言を行います。また、調査の実実施状況については、事務段階ごとに『都道府県実施状況報告書』に記録し、調査終了後、国に提出します。

### (2) 本社等一括調査に係る督促回収

本社等一括調査の調査票が期限までに提出されていない企業に対して、電話等により督促を行います。

## 3 調査書類の審査・整理・提出に係る事務（平成26年8月～平成27年3月）

### (1) 市町村における調査書類の審査状況の確認

市町村における調査書類の審査状況に応じて必要な助言を行います。

### (2) 市町村から提出された調査書類の受領及び枚数の確認等

市町村から提出された調査書類の枚数等の確認を行います。また、市町村から提出された『市区町村総括表』に基づき、『都道府県総括表』を作成します。

### (3) 調査書類の整理・提出

市町村から提出された調査書類等の整理を行い、『都道府県提出明細書』を作成し、調査書類を国に提出します。

### (4) 調査票のシステム審査

国が開催するシステム審査事務打合せ会に出席し、システム審査の内容等について説明を受けます。また、国におけるデータチェック後のエラー情報に基づくシステム審査（個票審査、サマリ審査）を、国が貸与する審査システム機器を用いて行います。

## 4 立地環境特性の確認に係る事務（平成26年7月～12月）

経済産業省において作成した商業集積地の領域情報の確認、補正に係る事務を行います。

## 5 市町村職員事後報告会の開催及び地方別事後報告会への出席（平成27年1月～2月）

### (1) 市町村職員事後報告会の開催

地方別事後報告会に先立ち、市町村職員事後報告会を開催し、調査の実実施状況の報告を受けます。

### (2) 地方別事後報告会への出席

国が開催する地方別事後報告会に出席し、実施状況について報告します。

## 6 広報及び関係団体等への協力依頼に係る事務（随時実施）

### (1) 広報の実施

国の広報計画等を踏まえ、広報計画を立て、国が提供する広報素材を活用するなどして、調査の各段階において適切な広報を行います。

### (2) 関係団体（地方組織）等への協力依頼

国が実施する協力依頼を踏まえ、関係団体の地方組織、都道府県単位で組織されている各種団体・企業等に対して、調査への協力依頼を行います。

# 平成 25 年科学技術研究調査結果の概要

平成 25 年科学技術研究調査の結果を昨年 12 月 18 日に公表しましたので、その概要を紹介します。

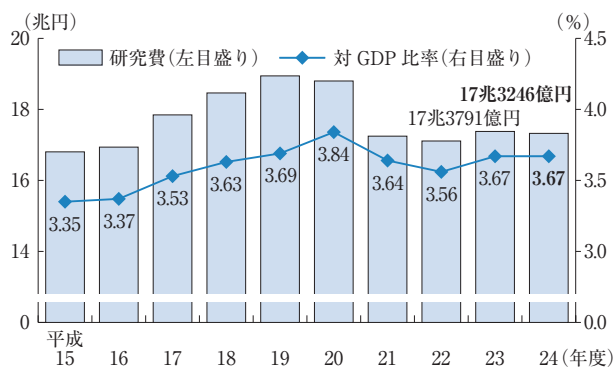
科学技術研究調査は、我が国における科学技術に関する研究活動の状態を調査し、科学技術振興に必要な基礎資料を得ることを目的として、企業、非営利団体・公的機関、大学等に対し、毎年 3 月 31 日現在で調査しています。調査の方法は、調査対象に調査票を郵送し、郵送又はインターネットにより回答を得る方法です。

## ○研究費は 17 兆 3246 億円

平成 24 年度の我が国の科学技術研究費(以下「研究費」という。)は、17 兆 3246 億円で、前年度に比べ 0.3% 減少し、2 年ぶりの減少となりました。

また、研究費の国内総生産 (GDP) に対する比率は、3.67% で、前年度と同率となりました。(図 1)

図 1 研究費及び対 GDP 比率の推移

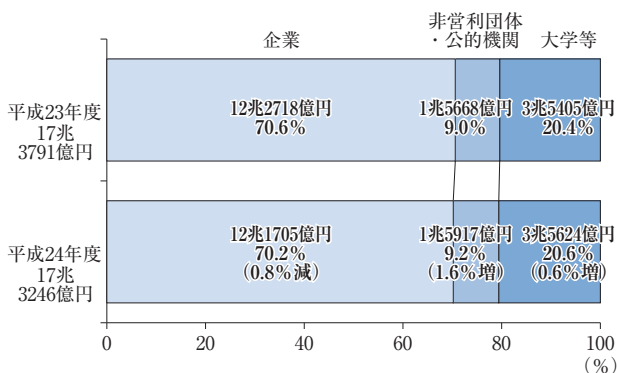


注) GDP は、名目値 (平成 25 年 7 - 9 月期 2 次速報値・内閣府 平成 25 年 12 月 9 日公表)。

## ○企業の研究費が研究費全体の約 7 割

研究費を研究主体別にみると、企業が 12 兆 1705 億円 (研究費全体に占める割合 70.2%)、大学等が 3 兆 5624 億円 (同 20.6%)、非営利団体・公的機関が 1 兆 5917 億円 (同 9.2%) となりました。(図 2)

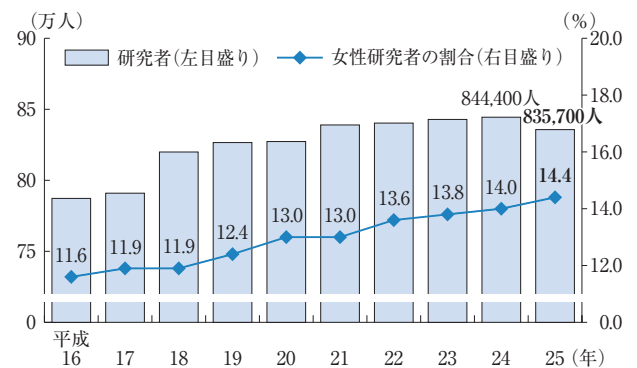
図 2 研究費の研究主体別構成比



## ○研究者数は 83 万 5700 人

平成 25 年 3 月 31 日現在の研究者数は、83 万 5700 人で、前年に比べ 1.0% 減少し、12 年ぶりの減少となりました。また、女性研究者の研究者全体に占める割合は、14.4% で、前年に比べ 0.4 ポイント上昇し、過去最高となりました。(図 3)

図 3 研究者数及び女性研究者割合の推移

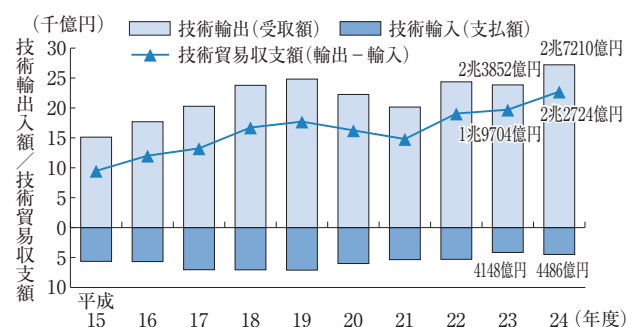


## ○技術貿易収支額は 2 兆 2724 億円

平成 24 年度における企業の技術貿易 (外国との間における特許、実用新案、技術上のノウハウなど、科学技術に関する研究開発活動を通して生まれる成果の提供又は受入れ) をみると、技術輸出の受取額は、2 兆 7210 億円で、前年度に比べ 14.1% 増加し、2 年ぶりの増加となりました。技術輸入の支払額は、4486 億円で、前年度に比べ 8.2% 増加し、5 年ぶりの増加となりました。

この結果、技術貿易収支額 (輸出 - 輸入) は、2 兆 2724 億円で、前年度に比べ 15.3% 増加し、過去最高となりました。(図 4)

図 4 技術貿易の推移





# サービス産業動向調査 平成25年拡大調査結果(速報)の概要

サービス産業動向調査は、サービス産業の売上や雇用等の動向を明らかにするため、サービス産業を営む事業所等を対象に実施している統計調査で、「月次調査」と「拡大調査」(年次調査)で構成されています。拡大調査は、サービス産業の活動を月次調査よりも詳細に、また地域別に明らかにするため、月次調査の対象に約43,000事業所を追加して、平成25年6月に初めて実施した統計調査です。この度、その速報結果を取りまとめましたので、その概要を紹介します。

## 1 サービス産業の全国の状況

サービス産業の平成24年の年間売上高は、291.3兆円となっています。事業活動の産業\*について大分類別にみると、「運輸業、郵便業」が61.6兆円と最も多く、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」が50.4兆円、「不動産業、物品賃貸業」が45.2兆円などとなっています。産業詳細分類別では、「パチンコホール」が27.0兆円、「道路貨物運送業」が23.0兆円、「病院」が21.9兆円などとなっています。

1事業従事者当たり年間売上高は、1104万円となっています。事業活動の産業について大分類別にみると、「不動産業、物品賃貸業」が2830万円と最も多く、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」が1834万円、「運輸業、郵便業」が1702万円などとなっています。(表1、2)

※ 本調査では、多様な事業を営む企業等については、「年間売上高」や「事業従事者数」を個々の事業活動ごとに調査しており、ここで用いる「産業」はこの事業活動ごとに分類しています。

表1 産業大分類別年間売上高

| 産業(大分類)           | 年間売上高(百万円)  | 1事業従事者当たり年間売上高(千円) |
|-------------------|-------------|--------------------|
| サービス産業計           | 291,342,003 | 11,036             |
| 運輸業、郵便業           | 61,581,670  | 17,021             |
| 不動産業、物品賃貸業        | 45,185,643  | 28,298             |
| 学術研究、専門・技術サービス業   | 25,902,762  | 15,845             |
| 宿泊業、飲食サービス業       | 26,616,454  | 4,773              |
| 生活関連サービス業、娯楽業     | 50,384,778  | 18,344             |
| 教育、学習支援業          | 3,409,354   | 3,593              |
| 医療、福祉             | 44,758,240  | 6,765              |
| サービス業(他に分類されないもの) | 33,503,102  | 9,164              |

表2 産業詳細分類別年間売上高(上位10産業)

| 順位 | 産業(詳細分類)※は内容例示                           | 年間売上高(百万円) |
|----|--|------------|
| 1  | パチンコホール                                  | 27,045,529 |
| 2  | 道路貨物運送業                                  | 22,962,650 |
| 3  | 病院                                       | 21,923,667 |
| 4  | 運輸に付帯するサービス業<br>※有料道路経営業、飛行場業など          | 12,997,801 |
| 5  | 他の物品賃貸業<br>※総合リース業、事務用機械器具賃貸業、レンタルビデオ業など | 12,693,217 |
| 6  | 他に分類されない事業サービス業<br>※イベント企画、コールセンターなど     | 9,687,245  |
| 7  | 建物売買業、土地売買業                              | 9,233,004  |
| 8  | 広告業                                      | 8,786,012  |
| 9  | 一般診療所                                    | 8,682,983  |
| 10 | 不動産賃貸業(貸家業、貸間業を除く)                       | 8,016,428  |

## 2 サービス産業の地域別の状況

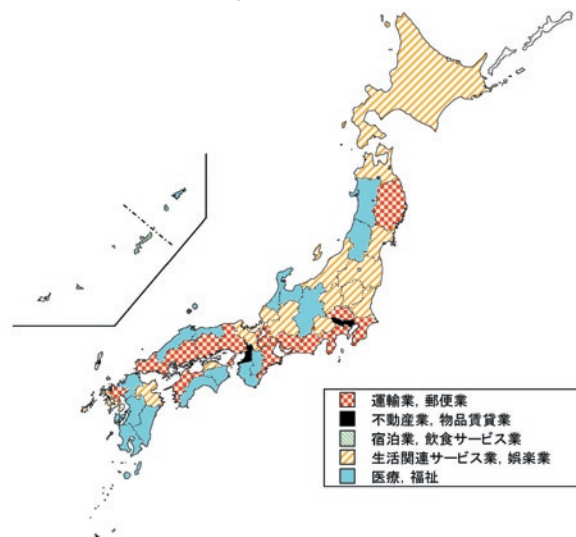
サービス産業の地域別の年間売上高は、東京都が71.8兆円と最も多くなっており、次いで大阪府が25.4兆円、神奈川県が18.0兆円などとなっています。

都道府県ごとに年間売上高が多いサービス産業をみると、北海道、茨城県、京都府など15道府県で「生活関連サービス業、娯楽業」が、福岡県、長野県、熊本県など15県で「医療、福祉」が、神奈川県、愛知県、埼玉県など14県で「運輸業、郵便業」が、東京都及び大阪府で「不動産業、物品賃貸業」が、沖縄県で「宿泊業、飲食サービス業」が最多となっています。(表3、図)

表3 都道府県別年間売上高(上位5都府県)

| 順位 | サービス産業計年間売上高(百万円) | 全国に占める割合(%) |       |
|----|-------------------|-------------|-------|
|    | 全 国               | 289,908,962 | 100.0 |
| 1  | 東京都               | 71,825,443  | 24.8  |
| 2  | 大阪府               | 25,431,018  | 8.8   |
| 3  | 神奈川県              | 17,977,825  | 6.2   |
| 4  | 愛知県               | 17,498,740  | 6.0   |
| 5  | 埼玉県               | 12,346,652  | 4.3   |

図 年間売上高が最多のサービス産業—都道府県別



## 3 今後の予定

初公表となる今回は、前年比較のデータがないため、単年の実績値のみとなりましたが、次回調査以降、毎年のサービス産業の動向(都道府県別の売上高の前年比など)を公表します。次回調査の公表は、平成27年夏以降を予定しています。

# 「統計の日(10月18日)」の標語(スローガン)を募集しています。

## 多数のご応募をお待ちしております!!

総務省では、「統計の日」の標語(スローガン)を募集しています。  
どなたでも応募できます。詳しくは下記の応募要領をご覧ください。



政府統計の  
統一ロゴタイプ

### 応募期間 平成26年2月3日(月)～3月31日(月)

総務省では、「統計の日(10月18日)」の周知を図るため、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語(スローガン)を募集しています。

「統計の日(10月18日)」とは、統計の重要性に対する理解と関心を深め、統計調査により一層、国民の協力がいただけるようにと定めた日です。

今年度のテーマは、「統計は、わたしたちが生活する社会の動きをきちんと知り、生活をゆたかにするためにとても大切なものです。このため、統計調査に協力することはとても大事です。」です。この趣旨を反映した作品をお待ちしております。

なお、入選した作品は、「統計の日」ポスターのほか、調査環境を整備するための各種広報に活用することとしております。

#### 1. 応募資格

- 小学生の部……小学校の児童
- 中学生の部……中学校の生徒
- 高校生の部……高等学校の生徒
- 一般の部……上記以外の学生及び一般の方
- 統計調査員の部…統計調査員や統計調査員をされた方など統計関係者
- 公務員の部……各府省、都道府県、市区町村の職員

#### 2. 応募方法

- 専用の応募用紙で1人5作品まで応募できます。
- 応募用紙はホームページ(右記参照)からダウンロードできます。

#### 3. 作品の提出先

- ①各府省の職員の方は、職場の取りまとめ部署へ御提出願います。
- ②都道府県及び市区町村の職員の方、統計調査員や統計調査員をされた方など統計関係者の方は、当該都道府県又は市区町村の統計主管課へ御提出願います。
- ③小・中・高校生、一般の方は、総務省政策統括官室まで、メール又はFAXで御提出願います。

#### 4. 入選作品の決定

- 厳正な審査を行い、入選作品として特選及び佳作を決定します(平成26年6月予定)。
- 入選者には、表彰状及び副賞を授与します。
- 入選作品の著作権は、総務省に帰属します。

#### お問い合わせ(提出先)

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
総務省政策統括官付統計企画管理官室  
普及指導担当まで

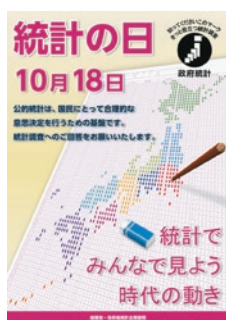
E-mail: toukeinohi@soumu.go.jp

Tel: 03-5273-1144 (ダイヤルイン)

FAX: 03-5273-1181

応募用紙のダウンロードや標語(スローガン)募集に関する詳細についてはホームページを御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/info/guide/bosyu.htm>



【平成25年度「統計の日」ポスター】

標語は、愛媛県松前町立松前中学校の能勢真琴さんの作品です。

#### (参考) 過去の特選作品

- 平成24年「統計で 知る・見る・活かす この社会」  
23年「小さな協力 大きな役目 統計はあなたが主役」  
22年「この国の 確かな選択 支える統計」  
21年「統計で、住みよい国の基礎づくり」  
20年「こつこつと 調べてわかる 日本の姿」  
19年「統計で わかるわが町 わが社会」  
18年「生かします。あなたにもらった 貴重なデータ」  
17年「統計で見える現代、見すえる未来」  
16年「統計は、揺れる社会の揺るがぬ指標」

# 平成 26 年度 統計研修



統計研修所では、平成 26 年度の統計研修を次のページのとおり計画しています。

平成 26 年度は、25 年度の統計研修実績に加え、派遣機関の皆様から寄せられた意見・要望等を検討し、次のように見直しました。

## ・課程の目的・内容の明確化

- 平成 25 年度に行っている「一般職員課程」及び「PC を用いた統計入門」の研修内容を見直し、統計実務者向けと統計利用者向けの 2 課程に再構築しました。この 2 課程に共通科目(2 日間)を設け、両課程を受講する場合、後から受講する課程においては共通科目を履修しないことも可能にしました。
- 研修内容や対象が分かるように課程名を変更しました。変更した課程は以下のとおりです。

| 区分            | 平成 25 年度                     | 平成 26 年度                       |                       | 備考  |
|---------------|------------------------------|--------------------------------|-----------------------|---|
| 統計入門課程        | 一般職員課程<br>PC を用いた統計入門        | 統計実務者向け入門<br>(4 日間)            | 共通科目(2 日間)を<br>設けました。 | 統計の基本と統計調査の<br>企画・設計などの実務的<br>な基礎知識の習得を目指<br>します。 |
|               |                              | 統計利用者向け入門<br>(4 日間)            |                       | 統計の基本と主要統計指<br>標の見方、統計データ利<br>用のための基礎知識を学<br>びます。 |
| 統計基礎課程        | 中堅職員課程                       | 統計基礎 1<br>(統計の理論に基づく統計活用の基礎課程) |                       | 名称の変更です。<br>研修内容は、平成 25 年<br>度とほぼ同様です。            |
|               | PC を用いた統計分析                  | 統計基礎 2<br>(演習に基づく統計分析の基礎課程)    |                       |   |
|               | 経済統計入門                       | 統計基礎 3<br>(経済統計の基礎課程)          |                       |   |
| 統計専門・<br>応用課程 | 地域分析と GIS 入門                 | 人口統計による地域分析                    |                       |   |
|               | 統計解析ソフト R で学ぶ<br>マイクロデータ利用入門 | 統計解析ソフト R で学ぶ<br>マイクロデータ利用法    |                       |   |
| 通信研修          | 統計調査基礎課程〈基礎〉                 | 入門 1                           |                       | 名称の変更のみです。<br>研修内容は、平成 25 年<br>度と同様です。            |
|               | 統計調査基礎課程〈応用〉                 | 入門 2                           |                       |   |

## ・短期間の新規講座の実施

- 「教育関係者向けコース」(1 日)  
統計データの探し方、利用方法など教育関係者だけでなく、教育関係者向けの研修を企画・実施している職員の方々も対象としたコースです。
- 「都道府県統計主管課 新任管理者コース」(会議開催前日の午後から翌日の午前で 1 日程度)  
全国都道府県統計主管課長会議の日程(4 月)に合わせ、新任管理者向けの講座を開催します。詳細は通常の応募要項とは別にお知らせいたします。(SWAN へも掲載します。)
- 「統計オープンデータ利用コース」(1 日)  
API や e-Stat などの利用方法を学ぶコースです。
- 「通信研修 入門 2 (スクーリング)」(1 日)  
通信研修中の疑問点などを解決していただく集合研修です。

※統計研修は、平成 26 年度から移転先の東京都国分寺市で行います。

## 平成26年度統計研修課程一覽(案)

総務省統計研修所

| 研修課程                               |   | 研修期間 <sup>注1)</sup>                             |                     | 定員(名)              | 講義形態 <sup>注2)</sup> |      |    |
|------------------------------------|---|---|---------------------|--------------------|---------------------|------|----|
| 総合課程                               | 本科(総合課程)  | 9月2日(火)～12月5日(金)                                | 3か月                 | 30                 | ○                   |      |    |
| 統計入門課程                             | 統計実務者向け入門<br>(統計の基本と統計調査の企画・設計などの実務的な基礎知識の習得を目的とする課程) | 5月  | 5月27日(火)～5月30日(金)   | 各4日間               | 58                  | ○    |    |
|                                    |   | 6月  | 6月17日(火)～6月20日(金)   |                    | 58                  |      |    |
|                                    |   | 1月  | 1月20日(火)～1月23日(金)   |                    | 58                  |      |    |
|                                    | 統計利用者向け入門<br>(統計の基本と主要統計指標の見方、統計データ利用のための基礎知識を学ぶ課程)   | 6月  | 6月3日(火)～6月6日(金)     | 各4日間               | 58                  | ○    |    |
|                                    |   | 7月  | 7月1日(火)～7月4日(金)     |                    | 58                  |      |    |
|                                    |   | 10月   | 10月21日(火)～10月24日(金) |                    | 40                  |      |    |
|                                    | 通信研修  | 入門1<br>(新たに統計業務に従事する職員、統計の基礎知識を習得したい職員を対象とした課程) | 6月                  | 6月9日(月)～6月27日(金)   | 各15日間               | 70   | 通信 |
|                                    |   |   | 7月                  | 7月10日(木)～7月31日(木)  |                     | 70   |    |
|                                    |   |   | 8月                  | 8月11日(月)～8月29日(金)  |                     | 70   |    |
|                                    |   |   | 9月                  | 9月8日(月)～9月30日(火)   |                     | 70   |    |
|                                    |   |   | 11月                 | 11月4日(火)～11月25日(火) |                     | 70   |    |
|                                    |   |   | 1月                  | 1月9日(金)～1月30日(金)   |                     | 70   |    |
|                                    |   | 入門1 スクーリング                                      | 10月                 | 10月9日(木)、10月10日(金) | 各2日間                | 40   | ○  |
|                                    | 2月  | 2月9日(月)、2月10日(火)                                |                     | 40                 |                     |      |    |
| 入門2<br>(「通信研修入門1」を受講した職員等を対象とした課程) | 10月   | 10月6日(月)～10月27日(月)                              | 各15日間               | 70                 | 通信                  |      |    |
|                                    | 12月   | 12月1日(月)～12月19日(金)                              |                     | 70                 |                     |      |    |
|                                    | 入門2 スクーリング  | 2月26日(木)  |                     | 1日                 | 58                  | ○    |    |
| 統計基礎課程                             | 統計基礎1(統計の理論に基づく統計活用の基礎課程)                             | 5月13日(火)～5月16日(金)                               |                     | 4日間                | 58                  | 講義のみ |    |
|                                    | 統計基礎2(演習に基づく統計分析の基礎課程)                                | 6月  | 6月9日(月)～6月13日(金)    | 各5日間               | 58                  | ◎    |    |
|                                    |   | 2月  | 2月2日(月)～2月6日(金)     |                    | 58                  |      |    |
| 統計基礎3(経済統計の基礎課程)                   | 5月21日(水)～5月23日(金)                                     |   | 3日間                 | 40                 | 講義のみ                |      |    |
| 統計専門・応用課程                          | 調査設計  | 6月23日(月)～6月27日(金)                               |                     | 5日間                | 58                  | ○    |    |
|                                    | 国民・県民経済計算   | 7月  | 7月7日(月)～7月11日(金)    | 各5日間               | 58                  | ◎    |    |
|                                    |   | 12月   | 12月8日(月)～12月12日(金)  |                    | 58                  |      |    |
|                                    | 産業連関分析  | 1月26日(月)～1月30日(金)                               |                     | 5日間                | 58                  | ◎    |    |
|                                    | 人口推計  | 7月14日(月)～7月18日(金)                               |                     | 5日間                | 58                  | ◎    |    |
|                                    | 経済予測  | 8月4日(月)～8月8日(金)                                 |                     | 5日間                | 58                  | ◎    |    |
|                                    | 人口統計による地域分析   | 9月17日(水)～9月19日(金)                               |                     | 3日間                | 40                  | ◎    |    |
|                                    | 政策と統計   | 11月10日(月)～11月13日(木)                             |                     | 4日間                | 40                  | ◎    |    |
| 統計解析ソフトRで学ぶマイクロデータ利用法              | 2月17日(火)～2月20日(金)                                     |   | 4日間                 | 40                 | ●                   |      |    |
| 特別コース                              | 教育関係者向けコース  | 8月22日(金)  |                     | 1日                 | 58                  | ○    |    |
|                                    | 都道府県統計主管課 新任管理者コース                                    | 4月  |                     |                    | 58                  | 講義のみ |    |
|                                    | 統計オープンデータ利用コース  | 8月  |                     | 1日                 | 58                  | ○    |    |
| 地域別統計セミナー                          | 東海・北陸地域統計セミナー <sup>注3)</sup>                          | 3月  |                     | 1日                 | 70                  | 講義のみ |    |

注1) 年表示(平成26年、27年)は、省略しています。

注2) 講義形態の「○、◎、●」は、講義のほかにPCを用いた演習も行います。PCの習熟度は以下のとおり。

○: Excelで四則演算、関数などが扱える職員

◎: 上記に加えピボットテーブルなどの操作に慣れている職員

●: プログラミング又は統計解析ソフトのスク립トの作成経験のある職員

注3) 「東海・北陸地域」とは、富山県、石川県、岐阜県、愛知県、三重県、新潟県、福井県、長野県及び静岡県です。

注4) 研修内容は、変更になる場合があります。



# 統計情報提供の新たな取組について

総務省統計局では、広く皆様の統計情報の利活用を促進するため、統計データの解説レポートの提供や統計メールニュースのリニューアル等、新たな取組をスタートしましたので、その概要を紹介します。

## I 「話題の数字」－解説レポート－

今話題になっている社会や経済の数字について、分かりやすく解説したレポートを統計局ホームページで提供してまいります。第1回は「技術貿易収支額」（12月20日）が過去最高であったこと、第2回は「女性の就業率」（1月10日）について掲載しました。今後、2週間に1回程度、提供してまいりますので御覧ください。



<http://www.stat.go.jp/info/wadai/index.htm>

## II 「あなたの統計理解度チェック」

データの活用で注目されている「統計学」が身に付く「あなたの統計理解度チェック」を統計局ホームページに掲載しています。

このコンテンツでは、簡単なクイズに解答することにより、あなたの統計理解度を判定してくれます。

今後、更に内容を充実させた、誰でも無料で学べる統計学習サイトを構築する予定です。

<「あなたの統計理解度チェック」トップページ>



<http://www.stat.go.jp/quiz/index.htm>

## III 公式 Facebook

統計局公式 Facebook では、統計局に関する話題や動き等を随時提供してまいりますので、是非御参加ください。

統計局ホームページからも御利用できます。



<https://www.facebook.com/stat.japan>

## IV 統計メールニュース

平成14年に開始しました「統計メールニュース」は、現在600号を越えて配信しております。統計調査結果の要点を公表と同時にメールでお知らせするとともに、統計に関する話題等の情報提供を行ってまいりました。

今般、受信機器等が多様化していることを踏まえ、利便性の向上を図り、より読みやすくなるようリニューアルを行いました。

統計局ホームページの「メールアドレスの登録画面」より、御登録ください。多くの皆様の御利用をお待ちしております。

<メールアドレス登録画面>

<http://www.stat.go.jp/info/mail/index.htm>

QR  
コード



こちらからも登録できます。



政令指定都市発とうけい通信<sup>⑬</sup>

# 「もうすぐ春ですね」

## 仙台市市民局地域政策部広聴統計課

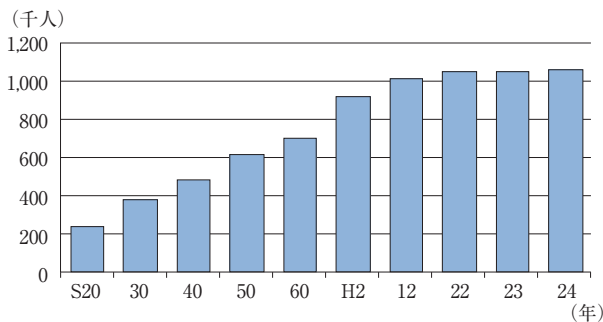
### ○「ありがとう」の気持ちは、今も

東日本大震災から3年が過ぎようとしています。これまで、仙台市を始め宮城県内外の被災地に対し、全国の皆様よりいただきました大きな御支援につきまして、この場を借り、改めて御礼申し上げます。

### ○震災前後の変化① ～推計人口～

仙台市は戦後、宮城県沖地震など複数の大型地震を経験しながらも、ほぼ一貫して人口が増加してきました。仙台市基本計画（平成23年3月策定）による将来推計人口では、平成27年の約105万人をピークに人口が減少に転じるとしていましたが、本市の推計人口は現在1,070,389人（平成26年2月1日）を数え、震災直前の1,046,737人（平成23年3月1日）から約3年で2万4千人ほど増加しています。

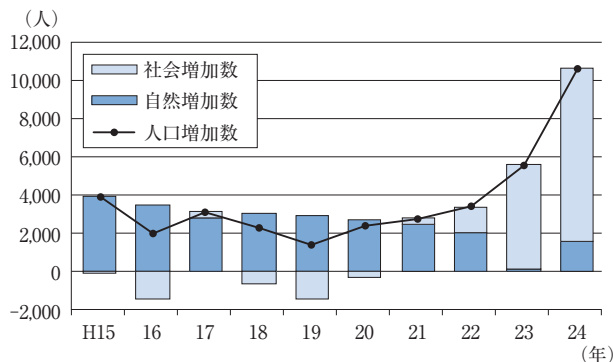
仙台市の推計人口推移



### ○震災前後の変化② ～人口動態～

震災前の10年間（平成13年～22年）は、仙台都市圏（周辺自治体）以外の県内自治体及び東北5県に対しては転入超過、それ以外は転出超過でした。震災後、市外被災地からの避難や他県からの求職によるものと思われる転入が増加し、大幅な転入超過へと転じています。

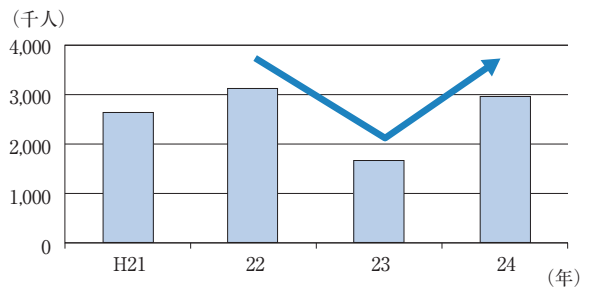
仙台市の人口増加数推移



### ○震災前後の変化③ ～観光入込客数～

平成23年は、毎年5月に開催される「青葉まつり」が中止となりましたが、夏には「東北六魂祭」や「七夕まつり」が、また翌24年には「青葉まつり」も復活し、元気を取り戻した仙台の姿をお見せすることができました。

観光入込客数（4-6月）



### ○「遊びさ来てけらいん！」

復興の坂道を駆け上がる仙台は、かつての、そして新しい、街の賑わいを取り戻しつつあります。春の「青葉まつり」、夏の「七夕まつり」、秋の「ジャズフェスティバル」、冬の「光のページェント」等々、四季を通じて皆さんをお待ちしています。是非、お越しください。



「せんだい旅日和 (http://www.sentabi.jp/)」

#### 資料元

推計人口：仙台市公表資料

人口動態：統計時報2013.3（仙台市刊行物）

観光入込客数：観光統計概要

（宮城県経済商工観光部観光課）

# 最近の数字

|           |        | 人口               |      | 労働・賃金          |                     |                      | 産 業              |                | 家 計 (二人以上の世帯)                |         | 物 価   |     |     |
|-----------|--------|------------------|------|----------------|---------------------|----------------------|------------------|----------------|------------------------------|---------|-------|-----|-----|
|           |        | 総人口<br>(推計による人口) | 就業者数 | 完全失業率<br>(季調済) | 現金給与総額<br>(規模30人以上) | 鉱工業<br>生産指数<br>(季調済) | サービス産業<br>の月間売上高 | 1世帯当たり<br>消費支出 | 1世帯当たり<br>可処分所得<br>(うち勤労者世帯) | 消費者物価指数 |       |     |     |
|           |        | 千人(Pは万人)         | 万人   | %              | 円                   | H22 = 100            | 兆円               | 円              | 円                            | 全国      | 東京都区部 |     |     |
| 実数        | H25. 8 | 127,336          | 6310 | 4.1            | 297,656             | 97.0                 | 28.5             | 284,646        | 388,907                      | 100.3   | 99.3  |     |     |
|           | 9      | P12727           | 6359 | 4.0            | 294,452             | 98.3                 | P29.3            | 280,692        | 349,578                      | 100.6   | 99.5  |     |     |
|           | 10     | P12730           | 6366 | 4.0            | 297,414             | 99.3                 | P28.7            | 290,676        | 401,139                      | 100.7   | 99.6  |     |     |
|           | 11     | P12729           | 6371 | 4.0            | 310,846             | 99.2                 | P28.6            | 279,546        | 356,208                      | 100.8   | 99.7  |     |     |
|           | 12     | P12727           | 6319 | 3.7            | P657,311            | P100.3               | ...              | 334,433        | 754,307                      | 100.9   | 99.7  |     |     |
| H26. 1    | P12722 | ...              | ...  | ...            | ...                 | ...                  | ...              | ...            | ...                          | ...     | P99.2 |     |     |
| 前年<br>同月比 | H25. 8 | —                | 0.5  | *              | 0.3                 | -0.5                 | *                | -0.9           | 0.8                          | -1.6    | -1.4  | 0.9 | 0.5 |
|           | 9      | —                | 0.8  | *              | -0.1                | 0.1                  | *                | 1.3            | P0.1                         | 3.7     | -0.4  | 1.1 | 0.5 |
|           | 10     | —                | 0.7  | *              | 0.0                 | 0.4                  | *                | 1.0            | P-0.1                        | 0.9     | -1.4  | 1.1 | 0.6 |
|           | 11     | —                | 1.2  | *              | 0.0                 | 1.5                  | *                | -0.1           | P0.9                         | 0.2     | -1.4  | 1.5 | 1.0 |
|           | 12     | —                | 1.5  | *              | -0.3                | P1.2                 | *                | P1.1           | —                            | 0.7     | -2.1  | 1.6 | 1.0 |

注) P:速報値 \* :対前月  
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値  
サービス産業の月間売上高の前年同月比は、平成25年1月の調査内容の見直しにより生じた段差を調整した値との比較

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2014年2月~3月)

### 《会議及び研修関係》

| 時 期  | 概 要   | 時 期  | 概 要                            |
|------|---|------|--------------------------------|
| 2月3日 | 統計研修 専科「PCを用いた統計分析」(2月)開講(~7日)              | 3月4日 | 統計研修 特別講座「地域別統計セミナー」(近畿地域対象)開講 |
| 7日   | 統計研修 特別講座【通信】統計調査基礎課程<応用>(2月)開講(~28日)       | 24日  | 第74回統計委員会                      |
| 17日  | 第73回統計委員会                                   |      |                                |
| 18日  | 統計研修 特別講座「統計解析ソフトRで学ぶマイクロデータ利用入門」開講(~21日)   |      |                                |
| 27日  | 統計研修 特別講座【通信】統計調査基礎課程<基礎>スクーリング(2月)開講(~28日) |      |                                |

### 《調査結果の公表関係》

| 時 期  | 概 要  | 時 期  | 概 要   |
|------|--|------|---|
| 2月7日 | 家計消費状況調査(支出関連項目:平成25年12月分,平成25年10~12月期及び平成25年平均速報)公表                             | 2月中  | 平成24年経済センサス-活動調査 企業等に関する集計-産業別集計-建設業及びサービス関連産業A, 学校教育 公表  |
| 〃    | 小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成26年1月分公表  | 3月7日 | 家計消費状況調査(支出関連項目:平成26年1月分速報)公表   |
| 12日  | 個人企業経済調査(動向編)平成25年10~12月期結果(速報)公表  | 〃    | 小売物価統計調査(自動車ガソリン)平成26年2月分公表   |
| 18日  | 家計調査(家計収支編:平成25年(2013年)10~12月期平均及び平成25年(2013年)平均速報)公表                            | 12日  | 日本の統計2014 刊行  |
| 〃    | 家計調査(家計消費指数:平成25年12月分,平成25年10~12月期及び平成25年平均)公表                                   | 14日  | 家計調査(家計消費指数:平成26年1月分)公表   |
| 〃    | 家計消費状況調査(ICT関連項目:平成25年10~12月期及び平成25年平均,支出関連項目:平成25年12月分,平成25年10~12月期及び平成25年平均)公表 | 〃    | 家計消費状況調査(支出関連項目:平成26年1月分速報)公表   |
| 〃    | 労働力調査(詳細集計)平成25年(2013年)10~12月期平均及び平成25年平均(速報)公表                                  | 20日  | 人口推計(平成25年10月1日現在確定値及び平成26年3月1日現在概算値)公表   |
| 19日  | 社会生活統計指標-都道府県の指標-2014, 統計でみる都道府県のすがた2014 刊行                                      | 27日  | 住民基本台帳人口移動報告(平成26年2月分)公表  |
| 20日  | 人口推計(平成25年9月1日現在確定値及び平成26年2月1日現在概算値)公表   | 28日  | 労働力調査(基本集計)平成26年(2014年)2月分(速報)公表  |
| 21日  | 個人企業経済調査(動向編)平成25年10~12月期結果(確報)公表  | 〃    | 消費者物価指数(全国:平成26年(2014年)2月分,東京都区部:平成26年(2014年)3月分(中旬速報値)及び平成25年度(2013年度)平均(速報値)並びに平成25年平均消費者物価地域差指数)公表 |
| 27日  | 住民基本台帳人口移動報告(平成26年1月分)公表   | 〃    | 家計調査(二人以上の世帯:平成25年(2014年)2月分速報)公表   |
| 〃    | サービス産業動向調査(平成25年12月分速報及び10~12月期速報)公表   | 〃    | 小売物価統計調査(全国:平成26年2月分(東京都区部:平成26年3月分))公表   |
| 〃    | サービス産業動向調査(平成25年9月分速報及び7~9月期速報)公表  | 〃    | サービス産業動向調査(平成26年1月分速報)公表  |
| 〃    | サービス産業動向調査(平成25年9月分速報及び7~9月期速報)公表  | 〃    | サービス産業動向調査(平成25年10月分速報)公表   |
| 28日  | 労働力調査(基本集計)平成26年(2014年)1月分(速報)公表   | 3月中  | 世界の統計2014 刊行  |
| 〃    | 消費者物価指数(全国:平成26年(2014年)1月分,東京都区部:平成26年(2014年)2月分(中旬速報値))公表                       |      |   |
| 〃    | 家計調査(二人以上の世帯:平成25年(2014年)1月分速報)公表  |      |   |
| 〃    | 小売物価統計調査(全国:平成26年1月分(東京都区部:平成26年2月分))公表  |      |   |
| 2月中  | 平成24年経済センサス-活動調査 事業所に関する集計-産業横断的集計-存続・新設・廃業別集計編 公表                               |      |   |
| 〃    | 平成24年経済センサス-活動調査 事業所に関する集計-産業別集計-卸売業,小売業(業態別統計編(小売業)),サービス関連産業B,医療,福祉 公表         |      |   |

この記事引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。

編集発行  総務省統計局  
〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
総務省統計局 統計情報システム課  
統計情報企画室 情報提供第一係  
TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
E-mail r-teikyou@soumu.go.jp  
ホームページ http://www.stat.go.jp/  
御意見・御感想をお待ちしております。